

# 森のひろば

フォレスト・ニュース

NO.1198

令和8年1月号

林野庁 近畿中国森林管理局



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



## 正月桜（寒桜）（鶴見緑地公園・大阪市内）

新年のご挨拶：近畿中国森林管理局長

トピックス：現地検討会（治山事業地でのシカ被害対策）を開催しました。  
（和歌山森林管理署）

ニュース：鳥取森林管理署、兵庫森林管理署、三重森林管理署

花草木：サルビア・ミクロフィラ

我が署のスタッフ：石川森林管理署

森林事務所等紹介：松江・横田森林事務所（島根森林管理署）

国有林最前線：広島森林管理署

# 謹 賀 新 年



新年のご挨拶 近畿中国森林管理局長 上口 直紀

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては新年を迎え、ますます清祥のことと心よりお慶び申し上げます。



昨年は、大阪・関西万博が開催され、大屋根リングをはじめ多くの施設において木材が利用されました。木材の魅力が広く発信され、木材利用への関心が一段と高まった年でもありました。

また、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度（SHK 制度）に、新たに木材利用の効果を位置付ける方向性が取りまとめられました。これを契機に、林野庁では、自治体・企業・団体の皆様が木材利用の推進やその効果の「見える化」に取り組むことを宣言する『『森の国・木の街』づくり宣言』の募集を開始しており、皆様の積極的な参画を期待しております。

さて、豊かな森林資源を次世代に確実につなげていくためには、林業の低コスト化を進めることが不可欠です。弊局では、伐採から再生林・保育までの収支をプラスに転換する「新しい林業」の実現に向けて、令和4年度から下刈りの省力化や収穫調査の効率化、低コスト鳥獣被害対策など、多様な実証に取り組み、得られた成果については、管内の森林管理署等で開催する現地検討会等を通じて民有林関係者の皆様へ普及等を行っております。

昨年は、昨今の森林に対するニホンジカ被害対策へのニーズを踏まえて、管内の署等においてシカ被害対策に対する現地検討会を7件実施したほか、ICT技術を活用した事例等を紹介させていただきました。

詳しい情報につきましては、弊局ホームページにも掲載しておりますので、ご覧いただくと幸いです。

ホーム > 近畿中国森林管理局の森林・林業再生に向けた取組 > フォレスターの活動状況 > 年度別現地検討会  
<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/sidou/foresuter/nendobetu.html>



令和8年は午年です。午年は、行動力が高まり、新たな挑戦に適した年とされています。本年は、森林・林業基本計画の変更の年でもあり、新たな計画策定に向けた議論が進んでいます。弊局としても、森林資源の循環利用の実現に向け、新たな取り組みに挑戦していきたいと考えております。

本年も、国有林野事業への一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご発展とご健勝を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



雲海に囲まれた備中松山城（がぎゅうざん 臥牛山国有林）

# 現地検討会（治山事業地でのシカ被害対策）を開催しました。

## 【和歌山森林管理署】

和歌山森林管理署では、平成 23 年に発生した紀伊半島大水害の復旧工事をやっている下モ谷西側地区において、シカによる深刻な食害への被害防止対策を実施しており、令和 7 年 11 月 18 日（火）に農林業関係者を集めた現地検討会を開き、課題や対策事例等について意見交換を行いました。

当日は、秋晴れのもと約 80 人の参加者があり、(ア)竹を使用した新たなシカの侵入防止対策、(イ)獣害防護柵の色の違いによる視認性検証や効率的な見回り方法、(ウ)地域の苗を使用した植栽等、試験的に実施していることを紹介しました。また、開発メーカーによる(エ)姿勢制御機能付き電動クローラー型 4 輪車の走行デモンストレーションを行いました。



管内の民有林直轄治山事業の概要説明を行った後、下モ谷地区の災害発生状況や工事概要を説明しました。



(ア)竹を使用した新たなシカの侵入防止対策、施工当時の様子（平成 30 年撮影）



(イ)防護柵下部からのもぐり込みを検知できる新たな点検方法を説明しました。



(ウ)アニマルネットによるシカ柵と地域苗植栽を説明する様子



(エ)4 輪車走行の様子

これらの技術は治山事業だけでなく、造林事業や農業分野等においても応用できることから、幅広くシカ被害対策の技術交流ができたものと考えられます。

現在は試験的に実施している段階ですが、将来、緑彩る山へ復旧することを願いつつ、今後も引き続きシカ被害対策に貢献していけるよう、取り組んでいきます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。



集合写真

ホーム > 森林管理局へようこそ > 森林管理署等の概要 > 和歌山森林管理署 > 情報コーナー > トピックス（実施済イベント情報など） > 和歌山森林管理署現地検討会（治山事業地でのシカ被害対策）が開催されました

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/wakayama/information/251127.html>

